

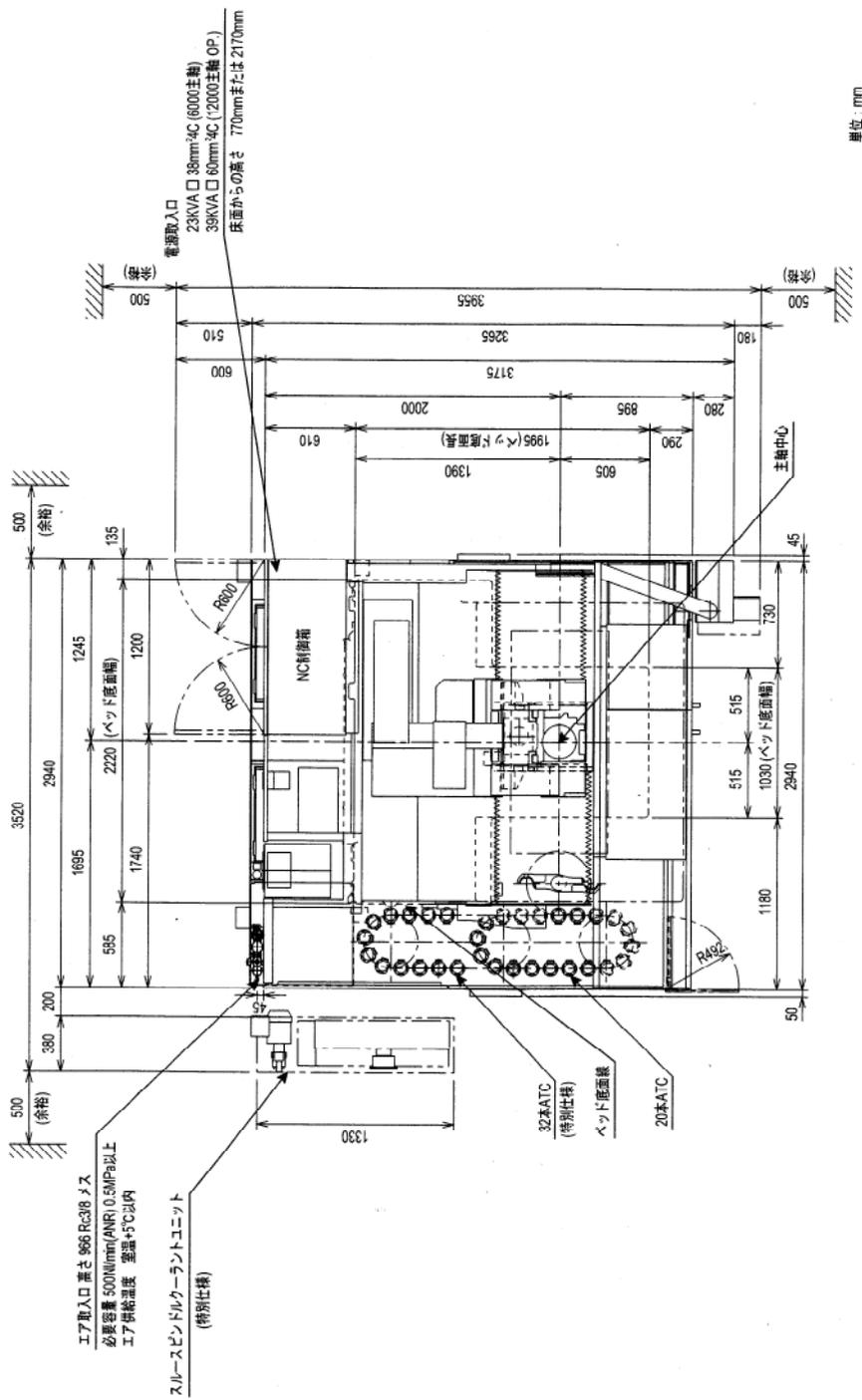
## 1-2. 機械仕様 MB-66VB

	項 目	単 位	MB-66VB
移 動 量	X 軸移動量	mm	1,500
	Y 軸移動量	mm	660
	Z 軸移動量	mm	660
	テーブル上面～主軸端面※1	mm	150～810
	クロスレール前面～主軸中心	mm	730
テーブル	作業面の大きさ	mm	660 × 1,530
	テーブルの大きさ	mm	660 × 1,530
	テーブル上面の形状		18T 溝 × 5 本 (125P)
	床面～テーブル上面	mm	850
	最大積載質量	kg	1,500
主 軸	回転速度 (標準)	min <sup>-1</sup>	50～6,000
	テーパ穴		7/24 テーパ No.50
	軸受内径	mm	φ90
	トルク / 基底回転数	N・m / min <sup>-1</sup>	220/650
	回転速度 (OP)	min <sup>-1</sup>	12,000
	トルク / 基底回転数 (OP)	N・m / min <sup>-1</sup>	220/650
送り速度	早送り速度	m / min	X・Y : 40, Z : 32
	切削送り速度	m / min	X・Y・Z : 32
電動機	主軸用電動機	kW	11/7.5 (6,000)、26/18.5 (12,000)
	送り軸用電動機	kW	X・Y・Z : 4.4
ATC	ツールシャンク	標準	MAS BT 50
		特別仕様	CATNo. 50、DIN No.50、JIS BT50、HSK-A100
	プルスタッドボルト	標準	MAS 2
		特別仕様	MAS 1、CAT、特殊 CAT
	工具収納本数 (OP)	本	20 (32)
	工具最大径 (隣接有 / 無)	mm	φ100 / φ152
	工具最大長さ / 最大質量 (OP)	mm/kg	400/12 (15)
	工具選択方式		メモリランダム
	工具交換時間 T-T/C-C	sec	2.6/5.3 (3.1/5.8)
工具交換方式		交換アーム	
大きさ	機械高さ	mm	3,295
	所用床面積 (幅×奥行)	mm	2,940 × 3,265
	機械質量	kg	11,200
備考	機械形式		X サドルフィード・ラムタイプ
	案内方式		3 軸リニアガイド
	クーラント容量	L	468 (有効 273)
	総電源容量	kVA	23 (6,000)、39 (12,000)

※1 ここでは主軸テーパゲージラインをいいます。

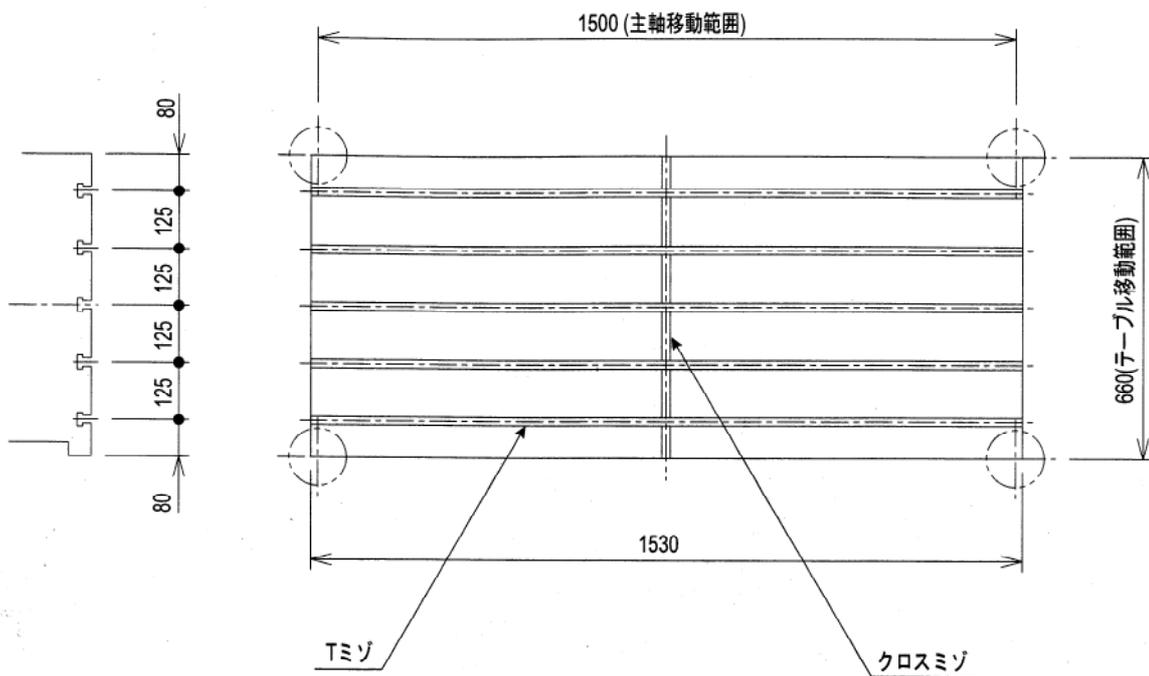


3-2. 据付図 MB-66VB (20/32本 ATC)



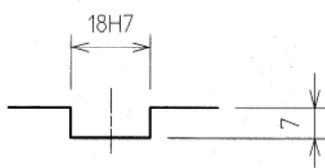
### 4. テーブル寸法図

MB-66VA  
MB-66VB

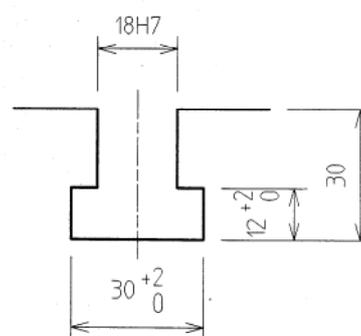


本機前面

単位: mm

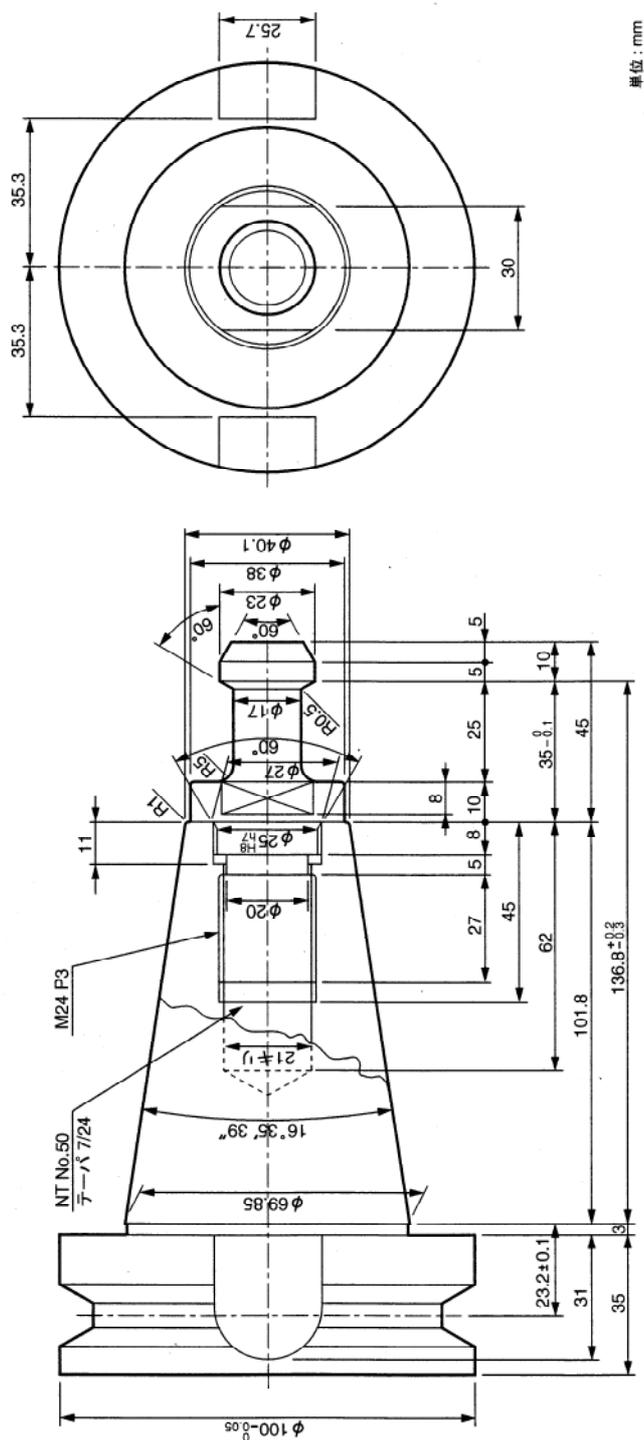


クロスミゾ詳細



Tミゾ詳細 (5本)

## 2-2. MB-66VB 工具シャンク・プルスタッド寸法図 (#50 MAS2)



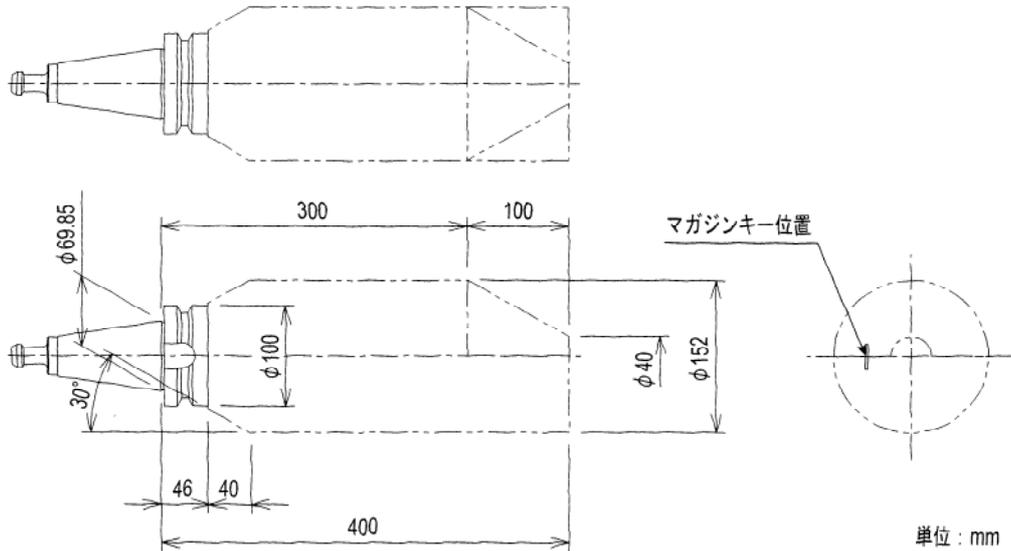
## [補足説明]

- 1) アーバ頭部形状は MAS(403-1982)BT50 規格寸法をご参考ください。
- 2) プルスタッドの形状は MAS(407-1982)P50T2 規格寸法をご参考ください。



## 3-7. MB-66VB 単一最大工具 (#50)

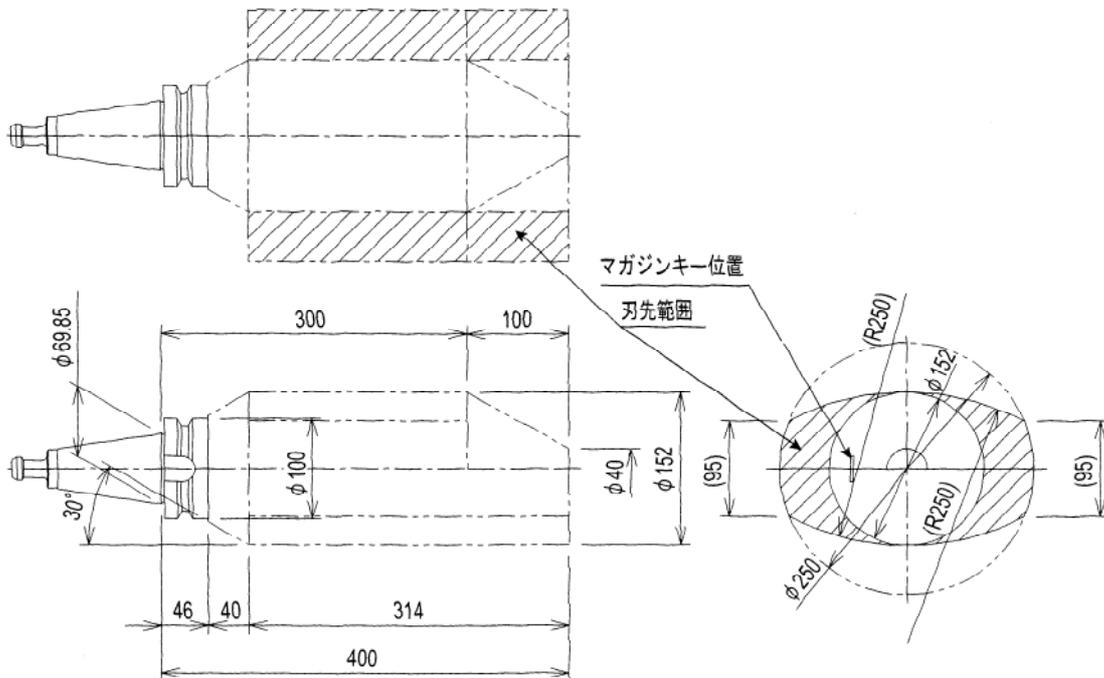
マガジンの両隣に工具を入れない場合に使用可能な最大工具スペース



MJ11162R0200800330001

ボーリングバーなどで、バーの外径が  $\phi 152$  以下であれば、他の工具との干渉を避けた方向で  $\phi 250$  までの刃先を持つボーリングバーを使用可能です。

但し、工具をマガジンに格納する向きによって利用可能範囲に制限があります。

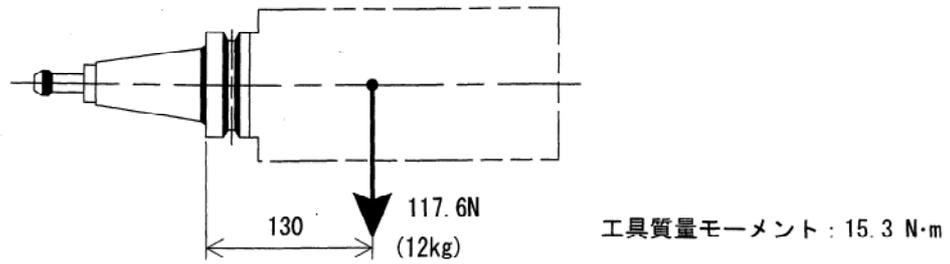


単位 : mm

MJ11162R0200800330002

### 3-8. MB-66VB 最大工具質量モーメント (#50)

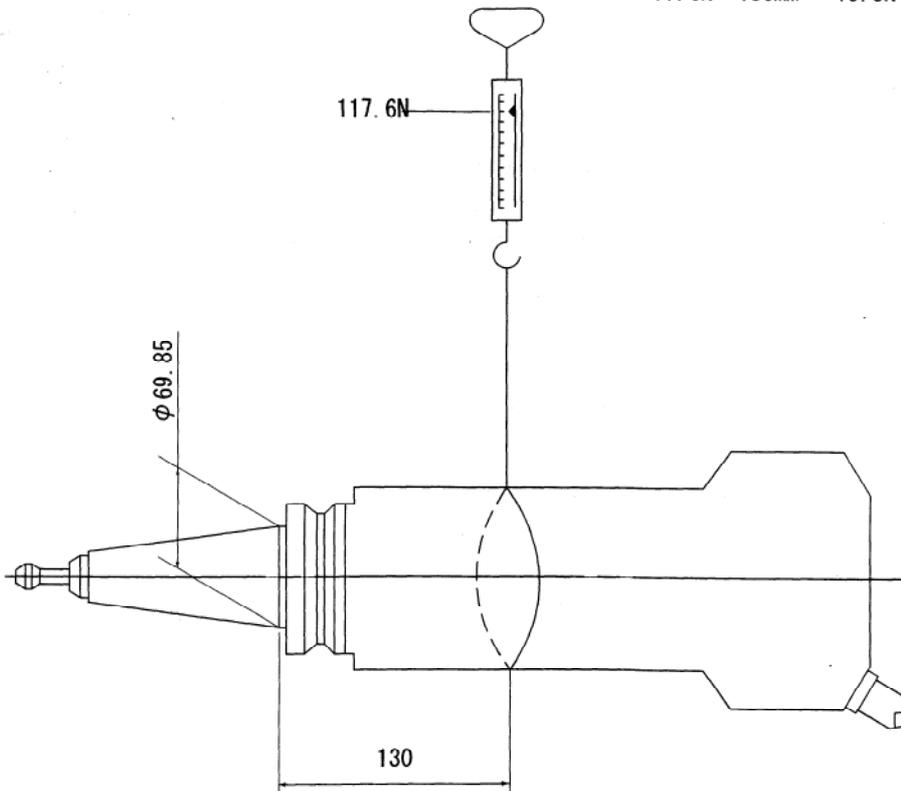
ATC 工具交換可能最大工具



15.3 N·m以上の工具質量モーメントを持った工具は使用できません。

MJ11162R0200800340001

$$17.6\text{N} \times 130\text{mm} = 15.3\text{N}\cdot\text{m}$$



MJ11162R0200800340002

シャンクを含めた質量を  $117.6\text{N}(12\text{kg})$  までとし、そのときの重心位置は、基準径 ( $\phi 69.85$ ) より  $130\text{mm}$  までとします。

3-9. MB-66VB ATC マガジン干涉図 (#50)

マガジン工具制限

両隣のポットを空にした場合、バーの外径が  
φ152以下であればこの範囲に刃先外径φ250  
までのボーリングバーが使用できます。  
(複数使用する時はその間を2ポット以上  
あけてください。)

最大正面フライス径φ125  
(外径φ152)

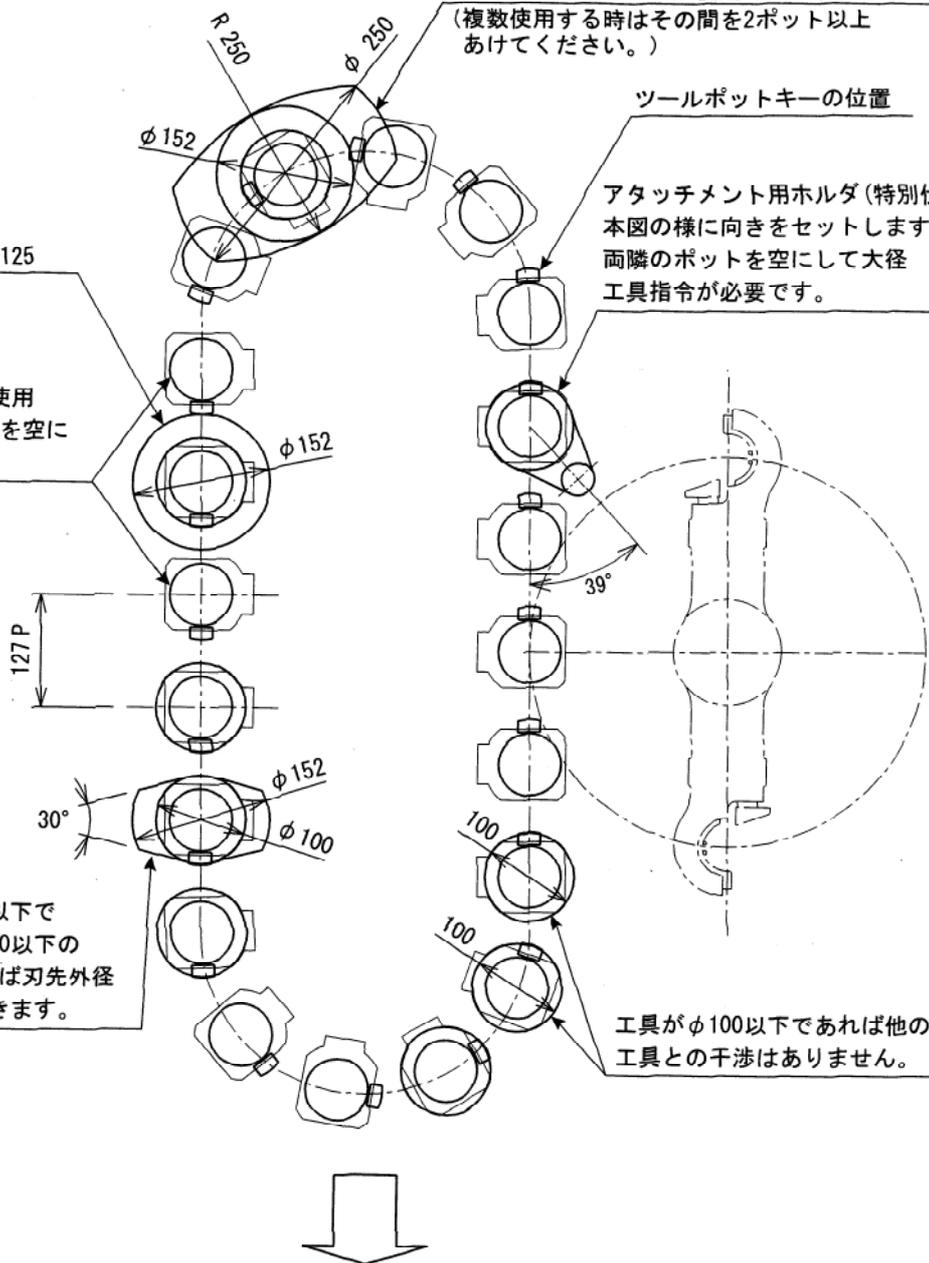
φ100を超える工具を使用  
する時は両隣のポットを空に  
してください。  
(大径工具指令が必要)

両隣の工具径がφ100以下で  
かつバーの外径がφ100以下の  
ボーリングバーであれば刃先外径  
φ152まで隣接使用できます。

ツールポットキーの位置

アタッチメント用ホルダ(特別仕様)  
本図の様に向きをセットします  
両隣のポットを空にして大径  
工具指令が必要です。

工具がφ100以下であれば他の  
工具との干渉はありません。

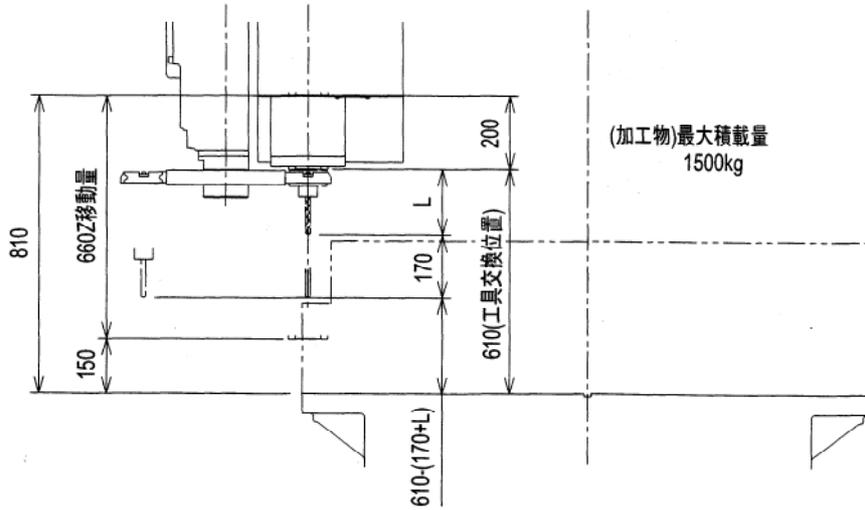
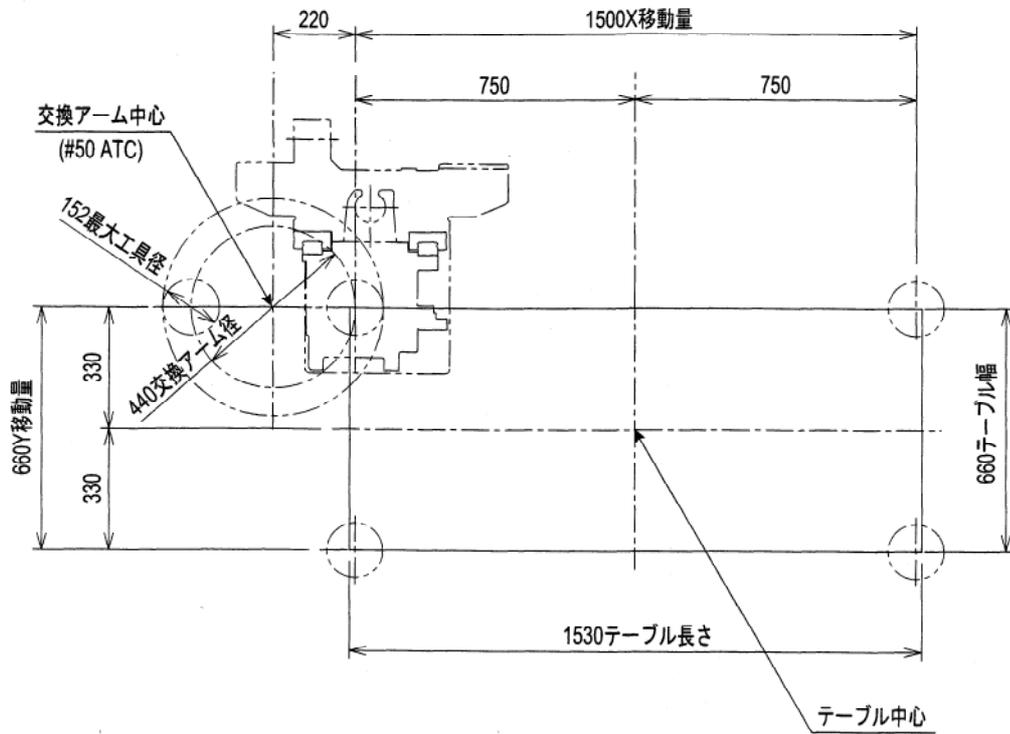


本機正面側 (本図はマガジンを上から見た図)

単位: mm

MJ11162R0200800350001

3-10. MB-66VB ATC ワーク干渉図 (#50)



単位：mm